

かほく市議会 常任委員会の傍聴 体験記

「なぜ、常任委員会を傍聴するの??」

- 議会は、議員全員が一堂に会してすべての議案を審議するのが理想ですが、多数の議案を全員で審議してはたくさんの時間がかかり、能率的に処理することは不可能です。そこで専門部門別に審査を分担し、各常任委員会で審議されます。だから多くの議案は、本会議ではなく各常任委員会に任されて審議されています。つまり常任委員会は、議会の要であり、町民からの請願や陳情もここで審議されています。ところが、この重要な委員会の傍聴は津幡町議会では、現在許可されていません。市民グループ「風」が、常任委員会の傍聴を求め続けて2年半たちましたが、いまだに傍聴はできません。本会議での傍聴はできても、実際に議案が審議される常任委員会の傍聴ができなければ、わたしたち市民にとっては、津幡町議会はいまだに閉ざされたままの議会なのです。

「9月、かほく市の産業建設常任委員会を傍聴しました」

- だれでも、かほく市の常任委員会を傍聴できます。日時をずらして委員会が開催されるので議員も傍聴することが可能です。わたしが行ったときは2人の議員が傍聴していました。傍聴は先着8人まで可能で、細長い部屋の一番うしろが傍聴席です。傍聴席の机には傍聴人各々に予算書等の審議資料だけでなく、本会議全般の資料も準備され自由に見ることができます。だから、傍聴していき何について審議されているのか、傍聴人も手にとるようにわかります。職員は総勢20人余り、それに対し議員は5人で、うーん、勉強していないと職員に言いくるめられるかも・・・と傍聴人のわたしにも緊張感が走ります。初めに担当部課長からの議案説明があり、その後議員が挙手して質問、職員の答弁、議論、採決となり、その一部始終を傍聴人は同じ会議室内で見聞きすることができるのです。議員の質問は活発で、本会議よりはるかに面白いといったら語弊があるかもしれませんが、とにかく面白い。いま何が問題なのか、わたしたちの税金がどのように使われようとしているのか、そして今後の町の方向性も知ることができます。今回、わたしは遠慮して飲まなかったけれど、セルフサービスでコーヒーを飲みながら、傍聴できるんですよ。百聞は一見にしかず。あなたもかほく市議会を傍聴してみては。

いやいや、津幡町の常任委員会を傍聴可能にすることが先決ですね。

(中村 記)



かほく市の委員会

<全員協議会堂を使用>

